

平成25年の交通事故発生状況と平成26年の交通安全対策について

1 交通事故発生状況

	発生件数 (件)	死亡事故		傷者数 (人)
		件数	死者数	
25年	7,836	69	74	10,214
24年	8,071	74	79	10,419
増減数	-235	-5	-5	-205
増減率(%)	-2.9	-6.8	-6.3	-2.0

- 発生件数、死者数、傷者数ともに減少した。
- 全国の死者数(概数) 4,373人(前年対比-38人) 13年連続減少
- 近畿各府県の死者数(人)

京都府	70(-36)	大阪府	179(-3)	兵庫県	187(+8)
奈良県	42(-7)	和歌山県	47(-3)	(*概数)	

2 死亡事故の状況

(1) 死者数の月別発生状況

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
死者数	5	6	4	6	6	7	11	8	7	5	2	7	74
前年比	-2	-3	-1	3	0	3	8	-3	2	0	-10	-2	-5

- 高齢死者が多かったのは、5月の5人、次いで2月と12月の4人。

(2) 死者数の年別推移

年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年
死者数	104	118	102	93	79	65	78	85	79	74

- 死者数が最も多かったのは、昭和44年の255人。
- 死者は、平成19年以降7年連続して100人以下となっている。
- 平成25年中の死者は、昭和33年以降、平成21年に次いで少ない数値

(3) 年齢層別死者数の状況

	死者数	構成率(%)	前年比
15歳以下	1	1.4	-2
16~24歳	11	14.9	4
25~29歳	5	6.8	1
30歳代	6	8.1	0
40歳代	6	8.1	-3
50歳代	8	10.8	0
60~64歳	7	9.5	0
65~74歳	10	13.5	2
75歳以上	20	27.0	-7
合計	74	100	-5

高齢者の状態別	
・歩行中	12人
・自転車乗用中	9人
・二輪車運転中	2人
・自動車運転中	5人
・自動車同乗中	1人
・道路外作業中	1人
計	30人

- 65歳以上の高齢者が30人(40.5%)を占める。
- 高齢者のうち75歳以上が20人(27.0%)と突出している。

(4) 事故類型別

	死者数	構成率(%)	前年比
人対車両	17	23.0	-6
車 両 相 互	正面衝突	9	12.2
	追突	10	13.5
	出合頭	9	12.2
	その他	8	10.8
車両単独	21	28.4	9
列車	0	0.0	-2
合計	74	100	-5

- 人対車両の事故が減少し、単独事故が増加した。

(5) 事故状態別状況

	死者数	構成率(%)	前年比
歩行中	20	27.0	-4
自転車乗用中	14	18.9	8
二輪車運転中	11	14.9	-3
二輪車同乗中	0	0	0
自動車運転中	20	27.0	-1
自動車同乗中	8	10.8	-6
その他	1	1.4	1
合計	74	100	-5

○全死者のうち歩行中と自動車運転中が20人、27%を占める。

○歩行中・二輪車運転中・自転車同乗中などが減少、自転車乗用中が大幅に増加した。

(6) 道路別状況

	死者数	構成率	前年比
国 道	19	25.7	-6
県 道	24	32.4	0
市 町 道	22	29.7	3
高速道路	9	12.2	-2
計	74	100.0	-5

○国道での死者が減少し、市町道での死者が増加した。

(7) 飲酒による事故

	発生件数	死者数	傷者数
25年	52	5	68
24年	48	4	75
増減数	4	1	-7
増減率(%)	+8.3	+25.0	-9.3

○傷者は減少、発生件数と死者が増加した。

(8) シートベルト着用状況

	自動車乗車中の死者数(人)	着用	非着用	非着用者が着用していた場合の生存可能者数率(%)
		率(%)	率(%)	
25年	27	9	18	9
		33.3	66.7	50.0
24年	34	20	14	10
		58.8	41.2	71.4

\*上記、自動車乗用中の死者は、小型特殊自動車乗車中の死者を除いたもの。

3. 平成25年中の死亡事故の特徴

- (1) 自転車事故と車両単独事故が大幅に増加した。
- (2) 歩行者事故と出合頭事故が減少した。
- (3) 高齢者の死者は減少したが、全死者の40.5%と依然高率である。
- (4) 国道での死者が減少し、市町道での死者が増加した。
- (5) 自動車乗車中の死者のうちシートベルト非着用者が65%以上を占める。

4. 平成26年の交通安全対策

- (1) 交通事故死者等の抑止目標
  - ・死者 60人以下
  - ・死傷者数 9,300人以下
- (2) 交通安全県民総ぐるみ運動(運動の重点)
  - ・子どもと高齢者の交通事故防止
  - ・歩行者と自転車の安全確保
  - ・全席シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
  - ・飲酒運転の根絶